ICTプログラミング教材保有・支援内容調査ご回答のお願い

一般社団法人ソフトウェア協会

プログラミング教育委員会　委員長　田中邦裕

かねてより、企業におけるIT人材不足は課題とされていますが、すべてのサービスがITを活用する現代では、更なる人材不足が予測されており、2030年までにIT人材は約80万人不足する、といった経済産業省の調査結果も発表されています。

そのような課題を解決するためにも、未だに根深く残るIT業界の悪いイメージを払しょくさせ、小中学生をはじめとする子供たちに、業界に興味を持ってもらい、将来のIT人材としての活躍してほしい、と期待するところです。

2020年から小学校でプログラミング教育がスタートし、中学、高校でも情報・プログラミングの授業が拡充されます。

プログラミング教育委員会では、活動の一つとして、企業・団体と学校・教育委員会をつなぐ、ハブのような役割を担い、学校現場によりよいプログラミング教育を届け、ITに興味をもってくれる子供たちを増やしていきたいと考えております。

そこで、まずは企業の皆様が、学校・教育委員会・塾などの教育現場に対し、どのような製品・サービス・コンテンツを保有しているのか（予定含む）、各社が子どもや先生に対して、提供可能なコンテンツを募集・調査します。

CSAJに企業の教育コンテンツを集約させ、そこから学校・教育委員会・塾などの教育現場がどのようなコンテンツを求めているのか、将来的に企業と学校のマッチングの仕組みを構築することが目的です。

それにより、会員企業の皆様のビジネスにもつなげ、教育現場はもちろん将来のIT人材を担う児童・生徒により良いコンテンツを提供し、IT業界への興味・関心を持ってもらうことで、将来的なIT人材不足を解決するための一助となればと思う次第です。

つきましては会員企業の皆様におかれましては、ICT・プログラミング教育に関するコンテンツ登録にご協力をお願いしたく、以下の設問をご確認のうえ、ご回答をお願いいたします。

※登録内容はSAJ Webサイト（ https://www.saj.or.jp/NEWS/committee/pge/201811\_pgeproject.html ）に公開しますのであらかじめご了承願います。

本件に関する問い合わせ・回答票返送先

一般社団法人ソフトウェア協会

事務局　担当：若生

TEL：03-3560-8440 E-mail：gyoumu1@saj.or.jp

【ICTプログラミング教材保有・支援内容調査　回答票】

■現状と今後の予定・希望

Q1．現在貴社において、教育機関に対して提供可能な、ICTプログラミング教育に関連した教材・機器・支援等はありますか？

[ ] 　 ある（→Q2へ）　[ ] 　リリース予定（→Q2へ）　　[ ] 　検討中　（→[Q8へ](#課題)）　[ ] 　ない（→[Q8へ](#課題)）

■教育コンテンツ保有・予定している方（※Q1で「ある」・「リリース予定」と回答した企業）

（複数選択可）

Q2．どの分野での教育コンテンツ・支援内容を保有（予定）していますか？

[ ] 　プログラミング教材（本）　　　[ ] 　プログラミング教材（製品）

[ ] 　ICT関連教材（本）　　　　　 [ ] 　ICT関連教材（製品）

[ ] 　ICT支援員等人的支援　　　　 [ ] 　資金支援

[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q3.Q2の回答について、どの教育現場での利用されることを想定していますか？（複数選択可）

[ ] 　学校（教科）　　[ ] 　学校（総合学習その他）　[ ] 　課外・部活動　　　[ ] 　私塾・スクール

[ ] 　行政機関（地域・教育委員会等）　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q4.Q2の回答内容について、現在どのようなルートを中心に教育現場に導入していますか？ （複数選択可）

[ ] 　学校への直接的な導入　　[ ] 　教育委員会経由　　[ ] 　地元や大手企業販社との提携

[ ] 　個別問い合わせ　　　　　[ ] 　未開拓

[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q5.Q2の回答内容について、今後増やしていきたい導入ルートはどちらですか？ （複数選択可）

[ ] 　学校への直接的な導入　　[ ] 　教育委員会経由　　[ ] 　地元や大手企業販社との提携

[ ] 　個別問い合わせ　　　　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q6.Q2の回答内容について、まだ実現できていない場合、その要因は何だと思いますか？

　（パイプの不足、販売価格が合わない、競合他社が既に導入済みである、など）

次ページに続く

Q7．Q2の回答内容について、保有・予定しているコンテンツ・支援内容について、以下に詳細をご記入願います。

1．教材内容

|  |  |
| --- | --- |
| 教材名称1 |  |
| 分類 | [ ] 　プログラミング教材（本）　　　[ ] 　プログラミング教材（製品）[ ] 　ICT関連教材（本）　　　　　 [ ] 　ICT関連教材（製品）[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 教材概要 |  |
| 製品リンク |  |
| 推奨対象 | [ ] 　未就学児　　[ ] 　小学校低学年　[ ] 　小学校中・高学年　[ ] 　中学・高校生[ ] 　高等専門学校・専門・大学生　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 活用イメージ | [ ] 　学校の授業（教科科目）　[ ] 　学校の授業（教科外（総合的な学習の時間等））[ ] 　学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で[ ] 　地域でのイベントやワークショップ、塾などで[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 必要機材・環境 | [ ] 　パソコン　　[ ] 　タブレット　　[ ] 　専用アプリケーション　[ ] 　インターネット環境[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 使用方法 |  |
| 指導方法例の有無 |  [ ] 　有　　[ ] 　無 |
| 指導方法例（概要） |  |
| 価格 |  |
| その他特記事項 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 教材名称2 |  |
| 分類 | [ ] 　プログラミング教材（本）　　　[ ] 　プログラミング教材（製品）[ ] 　ICT関連教材（本）　　　　　 [ ] 　ICT関連教材（製品）[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 教材概要 |  |
| 製品リンク |  |
| 推奨対象 | [ ] 　未就学児　　[ ] 　小学校低学年　[ ] 　小学校中・高学年　[ ] 　中学・高校生[ ] 　高等専門学校・専門・大学生　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 活用イメージ | [ ] 　学校の授業（教科科目）　[ ] 　学校の授業（教科外（総合的な学習の時間等））[ ] 　学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で[ ] 　地域でのイベントやワークショップ、塾などで[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 必要な機材 | [ ] 　パソコン　　[ ] 　タブレット　　[ ] 　専用アプリケーション　[ ] 　インターネット環境[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 使用方法 |  |
| 指導方法例の有無 |  [ ] 　有　　[ ] 　無 |
| 指導方法例（概要） |  |
| 価格 |  |
| その他特記事項 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 教材名称3 |  |
| 分類 | [ ] 　プログラミング教材（本）　　　[ ] 　プログラミング教材（製品）[ ] 　ICT関連教材（本）　　　　　 [ ] 　ICT関連教材（製品）[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 教材概要 |  |
| 製品リンク |  |
| 推奨対象 | [ ] 　未就学児　　[ ] 　小学校低学年　[ ] 　小学校中・高学年　[ ] 　中学・高校生[ ] 　高等専門学校・専門・大学生　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　） |
| 活用イメージ | [ ] 　学校の授業（教科科目）　[ ] 　学校の授業（教科外（総合的な学習の時間等））[ ] 　学校のクラブ活動、部活、土曜学習等課外学習で[ ] 　地域でのイベントやワークショップ、塾などで[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 必要な機材 | [ ] 　パソコン　　[ ] 　タブレット　　[ ] 　専用アプリケーション　[ ] 　インターネット環境[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 使用方法 |  |
| 指導方法例の有無 |  [ ] 　有　　[ ] 　無 |
| 指導方法例（概要） |  |
| 価格 |  |
| その他特記事項 |  |

※3つ以上ある場合はコピーして使用するか、上記内容がわかる資料を添付してください

2．ICT支援員等人的支援

|  |  |
| --- | --- |
| 派遣可能人数 | 　　　名　～　　名 |
| 過去経験有無 | [ ] 　有　　　[ ] 　　無 |
| 支援内容： | [ ] 　授業支援　　[ ] 　部活動支援　　[ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　） |
| 指導例の有無： | [ ] 　　有　　[ ] 　　無 |
| 指導内容： | [ ] 　ICT機器利用指導　　[ ] 　ICT活用時の留意点（リテラシー）[ ] 　プログラミング技術[ ] 　先生に対するプログラミング指導方法 |
| 利用可能言語（小学生向け） | [ ] 　　Scratch　 [ ] 　　Viscuit　 [ ] 　その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 利用可能言語（中学・高校生向け） | [ ] 　　Visual Basic　 [ ] 　　C言語関連　[ ] 　　Java　　[ ] 　　Javascript[ ] 　　Scala　　　　 [ ] 　PHP　　　　　[ ] 　Python　 [ ] 　Swift[ ] 　　その他（　　　　　　　　　　） |
| 連絡事項： |  |

3．資金支援

|  |  |
| --- | --- |
| 支援金額 |  |
| 申請方法 |  |
| 要件 |  |
| 連絡事項 |  |

4．その他

　上記以外に支援可能な事項があれば以下に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

■プログラミング教育に対する課題についてのアンケート

Q8．プログラミング教育が教育機関に対し、より良いカリキュラムとして広まるために、どのような課題があると感じますか？貴社が考える主な課題について、3つ以内で選択してください。

　[ ] 　パソコン等の機材の運用・保守

　[ ] 　ネットワーク環境などのインフラ整備

[ ] 　技術知識を持つ外部人材の登用

[ ] 　学校・教育委員会とのつながり

[ ] 　学校の先生の理解・協力

[ ] 　学校の先生に対する研修

[ ] 　指導内容（カリキュラム）事例

[ ] 　国の全面的なバックアップ体制

　[ ] 　必要な予算確保

Q9 .企業が学校に対し、プログラミング教育等の支援を継続的に実施するため、何が必要だと思いますか？（複数選択可）

[ ] 　国のバックアップ体制や法整備

[ ] 　導入・運営資金

[ ] 　教育に必要な機材（機材内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

[ ] 　指導内容（カリキュラム）事例

[ ] 　学校とのマッチングの仕組み

　[ ] 　指導者育成のための研修プログラム

[ ] 　その他

Q10．以下にプログラミング教育委員会への意見・要請等をご記入願います。

意見・要望等連絡事項

|  |
| --- |
|  |

Q11.回答者情報をご記入ください

（※回答者の個人情報は公開いたしません。事務局との連絡窓口としてご記入をお願いします）

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 |  |
| 氏名 |  |
| E-mail |  | TEL |  |

以上、ご回答ありがとうございます。